

阪口保 さきのりょう たむらう 國文學者、歌人。明治二十年二月十四日三重縣多氣郡

津田村生れ、平成元年二月二日歿（一九七〇—一九八七）。筆名阪口多葉津。

京都第一中學校卒。兵庫縣立豊岡・姫路・加古川各高等女學校教諭、

兵庫縣・淳生省各屬誌、國立北京師範大學教授歴任。

著書『短歌概説』（昭和九年二月十日甲文堂書店）、『萬葉集大和地

理解典』（昭和十九年七月二十日創元社）、『浦島説話の研究』（同一

和心文學史の試み）、『昭和二十九年十月文學園社）、『相聞の展開

―萬葉集と短歌論』（昭和二十二年九月二十日兵庫・無寸艸社）、『方

言とことばのこころ―ことば・兵庫県』（編、昭和二十八年四月五日兵庫

・のじざい文庫）、『万葉兵庫』（昭和四十四年五月五日兵庫・羊と

んの会出版部）等。

